

「加西市播磨国風土記1300年祭」いよいよ開催！

『播磨国風土記』に登場する根日女伝説の舞台でもある玉丘史跡公園を会場に、「加西市播磨国風土記 1300 年祭」を開催します。詳しくは、市役所や公民館などにある公式ガイドブックや市ホームページをご覧ください。

当日雨天時の開催案内ダイヤル／☎ 0180-991-328



会場の玉丘史跡公園にある玉丘古墳

5/4
(月・祝)
14:00～17:00

今よみがえる『播磨国風土記』の世界

※雨天時は市民会館で開催（観覧には座席券が必要です。無料観覧エリアはありません）

新作狂言 根日女（ねひめ） 14:55～15:35
野村萬斎、加西市こども狂言塾 ほか

新作能 針間（はりま） 15:45～17:00
大槻文蔵、梅若玄祥、観世鏡之丞、藤田六郎兵衛 ほか

加西市伝統芸能 14:10～14:45
住吉神社龍王舞、東光寺田遊び・鬼追い



哲学者の梅原猛さんが『播磨国風土記』を題材に書き下ろした新作能「針間」

無料観覧エリアと大型モニターを設置

観覧には座席券が必要です。座席券の販売は終了していますが、芝生広場内に無料観覧エリアと大型モニターを設置します。ぜひご来場ください。



1年間稽古に励んだ「加西市こども狂言塾」の塾生



ミニ SL 乗車体験



特産品の大抽選会

家族みんなで楽しもう

※小雨決行 荒天時中止

5/5
(火・祝)
10:00～17:00

妖怪ウォッチ ① 10:45～11:15 ② 15:00～15:30
ジバニャンバラエティーショー

お笑い芸人 12:15～12:45
藤崎マーケット、ギャロップ

新作狂言「根日女」 13:15～14:00
こども狂言 加西市こども狂言塾

■はりまグルメフェア（あかし玉子焼、加古川かつめしなど）、古代体験型ブース、公園内ミニガイドツアー、ミニ SL 乗車（10:00～15:00、1回 100円）、播磨地域特産品大抽選会（16:15～16:45）



会場までの交通機関

玉丘史跡公園の駐車場は両日、ご利用いただけません。車を利用される方は、右表の無料駐車場をご利用ください。駐車場から会場へは、シャトルバス（無料。時刻表は市ホームページ参照）が出ています。広報かさい9頁には、片道が無料となる「北条鉄道乗車優待券」がありますので、北条鉄道もご利用ください。

駐車場	市役所（600台）、健康福祉会館（370台）、アラジスタジアム（170台）、JA 兵庫みらい（100台）、東播瓦産業横（100台）、イオンモール加西北条
シャトルバス停留所	市役所、アラジスタジアム、市民会館、JA 兵庫みらい、イオンモール加西北条、北条町駅、玉丘史跡公園

【問合せ先】 播磨国風土記1300年事業推進室 ☎ 428756 ※詳しくは「播磨国風土記の里 加西」ホームページをご覧ください。

中学生親善訪問団がプルマン市を訪問

中学生親善訪問団の8人が3月25日から4月3日の間、姉妹都市の米国ワシントン州プルマン市を訪問しました。子どもたちは生の英語に肌で触れ、外国家庭での文化や生活を体験することで、国際感覚を育みました。

プルマン市とは、平成元年に姉妹都市提携を締結して以来、加西市から中高生を交えた訪問団を15回派遣。プルマン市からも12回の訪問がありました。



リンカーン中学校で加西市の説明をする中学生親善訪問団



グレン・A・ジョンソン市長と撮影。市長は「風土記1300年祭」のため来日されます。



ホストファミリーと一緒にワシントン州立大学で野球観戦

■主な訪問内容

リンカーン (Lincoln) 中学校訪問／同校で「加西市は北条鉄道や玉丘古墳、北条節句まつり、田遊び・鬼会、ブドウが有名」など、プレゼンテーション。また、同校生徒と一緒に授業を受け、中学生生活を体験。

ホストファミリー宅に滞在／ホストファミリーと一緒にプルマン市内をサイクリング。ワシントン州立大学や教会なども訪れ、文化や生活を体験。

■中学生親善訪問団の感想

- ・日本とアメリカでは想像以上に授業スタイルが違い、文化の違いを肌で感じることができて勉強になった。
- ・リンカーン中学校の生徒は、みんなが自分の意見をしっかり持っていたので、積極的な姿勢を見習いたい。
- ・ホストファミリーが優しく接してくれたので、なんとか英語で会話することができた。もっと英語で伝えられるようになりたい。

■中学生親善訪問団による報告会 (誰でも聞くことができます)

日時／6月6日(土) 13:30～ 場所／アステアかさい3階集会室

【問合せ先】 ねひめカレッジ (加西市国際交流協会) ☎080-4705-7122 nehimе@kasai-kokusai.info

都市の若者のアイデアで新しいまちへ

加西市は4月1日、地域資源を生かし、加西市で定住を目指して起業活動に取り組む2人の若者を「地域おこし協力隊」に任命しました。

2人は姫路市と大阪市在住者で、加西市に住民票を移し、地域で活動する各種団体やふるさと創造会議などと連携して、若い新しい視点で暮らしやすいまちづくりの実現に取り組めます。応援をお願いします。



まちづくりの意気込みを語る下江さん(右)と立花さん

■下江一将さん (大阪市出身、24歳)

応募理由／加西市を訪れる機会があり、大学生活の中で追求してきた「豊かな生活」を、加西市の地域資源を生かして実現できると感じたから。

主な活動内容／空き家・古民家を活用して、都市部の若者と地域の方が憩えるコミュニティスペースづくり。

趣味／サッカー、バンド、旅行

■立花莉絵子さん (姫路市出身、21歳)

応募理由／加西市のまちづくりについて考える機会があり、自分自身が加西市に住んで、地域の方と一緒に課題を解決するお手伝いをしたいと思ったから。

主な活動内容／地域の魅力発信などを通して、地域の方が地域の方だけでなく、市内外の多くの方と触れ合い繋がることのできる仕組みづくり。

趣味／まちあるき、読書、写真

【問合せ先】 ふるさと創造課(ふるさと創造係) ☎428706 FAX431800 furuso@city.kasai.lg.jp